

## 教材名「日本の地形の特色」

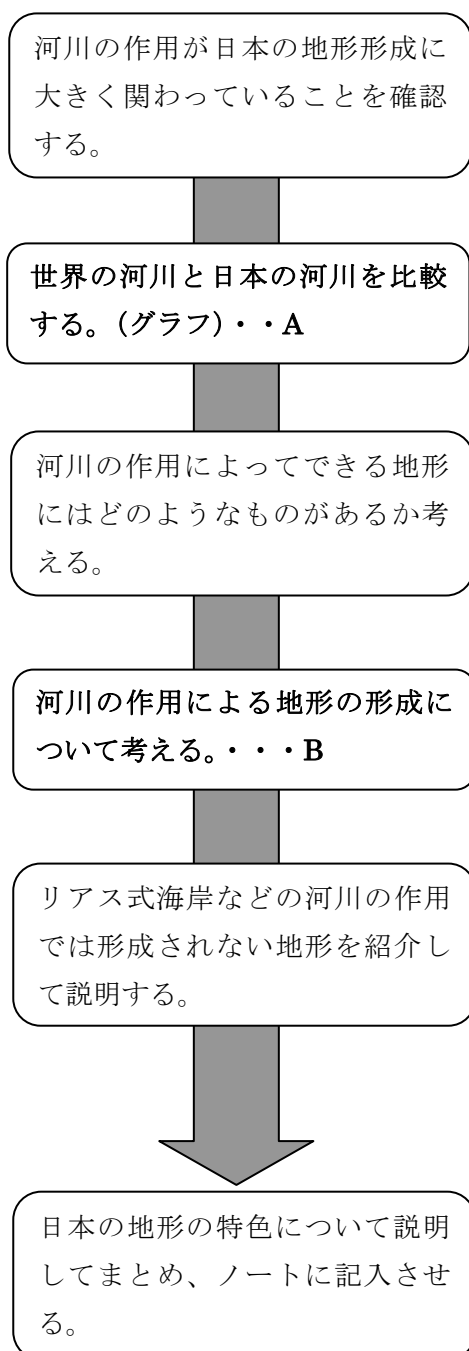
### ■ 目標

- ・ 日本の平野や盆地の特色を理解し、その土地利用について考える。

### ■ コンピュータを活用する利点

ICTを活用することで資料を大きく提示して全員が前を向いて一斉に考えることができる。また、現地学習が難しいため、写真資料を多く用いて生徒の体験を補うことでよりわかりやすい授業が展開できる。

### ■ 授業の流れ



### ■ ICT活用場面

A 世界の河川と日本の河川の傾斜や河口までの距離のグラフ(「中学校デジタル掛図」東京書籍)を提示して比較させた。考える時間を多く与えて発表させた。

B 河川的作用による地形(扇状地、三角州)について、資料を提示して考えた。空中写真(「中学校デジタル掛図」東京書籍)を用いることで、地形の形がよくわかり、生徒に地形の形成イメージを持たすことができた。また、扇状地の学習では、伏流水となっている河川の位置や流れる方位、集落の発達などを同じ空中写真に書き込ませ、扇状地の土地利用やその移り変わりを一度に学習することができた。



### ■ 成果と課題

世界と日本の河川についてグラフを提示して河川の長さや流域面積の比較を行い、日本の河川の特徴をつかませた。全員が同一課題を見て考えて発表するため、他の生徒の意見を聞きながら考えることができるとともに、教師が生徒の考える様子を確認しやすかった。また、写真を大きく提示することは、地形の外観をより詳細に捉えるのに有効であると感じた。しかし、ICTを用いた課題を多く詰め込みすぎたため、新鮮さが薄れたとともに、1つの地形についてくわしく考えることが難しかった。ICTの活用場面を精選する必要があると思う。

### ■ ICT使用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン1台 プロジェクタ、電子黒板
使用ソフト名	「中学校デジタル掛図(社会)」東京書籍
使用教室	教科室(コンピュータ、プロジェクタ常設)